

SPECIAL
EDITION

HONG KONG

ONE STORY

BY MERCI MEDIA CORPORATION

ISSN 2817-1276

\$5 CAD
¥500

April 28, 2023

ART | BUSINESS | DESIGN | HOSPITALITY | LEISURE | LIVING | TRAVEL | WELL-BEING | REAL ESTATE

www.merci-magazine.com

インワード・ジャーニー

私のクリエイティブな旅は、成長と洗練の連続したプロセスでした。これから先、私をどこへ連れて行ってくれるのか、わくわくしています。

スペースの制約に革新的な解決法で挑む



限られたスペースに直面したとき、デザイナーに求められるのは、創造的で既成概念にとられない発想です。Max Lam Designs が強みを発揮するのはそんな時です。業界での長年の経験が、制約をチャンスに変えるチーム能力に磨きをかけています。

サステイナブルな店舗デザインで体现



Max Lam Designs のデザインは、五感を刺激し、高揚させ、育みます。ビジュアル・ディスプレイや環境音楽、触感や香りを取り入れ、関心と想像力をかき立てる多感覚的な顧客体験をつくりだします。

インテリアデザイン



地元のアーティストや職人とのコラボレーションは、私のデザインアプローチに欠かせないインスピレーションを与えてくれます。協働することは、私たちのプロジェクトに新鮮で刺激的な視点をもたらすのです。

インタビュー



マックスは、新しい技術を学んだり未知の文化を体験したり、あるいは自分の限界を超えることで、生きる道りを再定義しつづけています。

インワード・ジャーニー



マックスは、オーダーメイドの照明には空間を容納させ、その創造の本質を伝える力があると考えています。「Inward Journey」プロジェクトは、その代表作といえます。



nourish

ONE CITY
香港

Opening essay by Lianne Hackett

マックス・ラムは、才能あふれるデザイナーです。ストーリーテラーは、デザイナーの武器としては目立つ要素とは言えないかもしれませんが、マックスのスタジオのインテリアやプロダクトデザインのナレーションは、ブリーフの核心を突く才能を表しています。「和食レストランにいるような軽さ」というタイトルで設えられたステージは、あたかもマックスがつくる空間に注ぎこむ命の息吹を感じさせます。

マックスのプロジェクトを「温かみのあるインフォーマル Warm Informality」「内面への旅 An Inward Journey」「甘い逃避行 The Sweet Escape」といった視覚的なカテゴリーに分類するとこれから何が起るのか、語り手のヒントが見えます。彼がクライアントのブリーフに喚起しているのは一目瞭然です。照明が作品の中心であることも明白です。特に目立つデザインは「Ripple」ライトです。「Ripple」は美と機能性を兼ね備えています。香港文化博物館の展示品に加えられたことでも、美術的価値があることがわかります。この照明は、イタリアを代表する照明ブランド、ヴィアビズノ社とのコラボレーションによってベネチアのムラノ島でハンドメイドされました。そのデザイン自体がつくったデザイナーを雄弁に物語っています。マックスが「Ripple（波紋）」の制作に込めたのは、私たち一人ひとりが最初の波を作ることでより友好的な環境を作り出したいという願いでした。

” 「このランプは、水の波紋からインスピレーションを得ました。水滴が水面に落ちる自然現象の美しさと安らぎを表現したことに加え、一つのこと他ることにつながり、とても小さな出来事から長期的な影響が生まれるリップルエフェクト（波及効果）の精神を引き出すために形作られています。困っている人に手を差し伸べることで、その行為が助けられた人のモチベーションを高め、善行を広める波及効果を生み出すというアイデアが具現化されています。」

2024年に、マックスはムラノに戻り、ヴィアビズノと企画中の新しい照明デザインコレクションを開発する予定です。

遊び心あふれるデザインも作品の中心にあります。夢のケーキメーカー、ライフタスティック社との関係です。子供がケーキ屋さん連れて行かれて、大人の入口の隣に自分専用のミニエントランスがあり、壁にはミニ絵画があり、ケーキを食べながら心ゆくまで旋回できるなんてどんなに楽しいことでしょう。天才的なアイデアです！マックスは香港のアーティスト、ユニースに依頼してライフタスティックのケーキの小さな「肖像画」を392枚制作し、青一色の壁に回転させてLifetasticのロゴを綴りました。マックス・ラム・スタジオは、フェスティバルウォークで行われた Lifetastic のポップアップで、2022年度英国レストラン&バー賞のアジア部門賞を受賞しています。

マックスにとって、子供たちのための空間デザインは喜びであり、家族の住まいをデザインする時は機能性に楽しさも付加します。マックスは「私自身が父親なので、親になった人のニーズがよくわ



BY MERCI MAGAZINE

かる」と言います。彼が手がけたクライアントの子どもの寝室は、Jolly: 愉快と評されています。どんな子もすぐに帰りたくなる部屋といえます。色彩豊かな空間づくりは、子どものためだけではありません。初期の店舗デザインでは、レインボーストラップを壁面に蛇行させ、60年代のレトロで遊び心のある空間を演出していました。また対照的な色彩も好みで、禅的なミニマルズムやスカンジナビアのクリーンカットのラインを取り入れたデザインも手がけています。間仕切りにガラス張りの壁や二重ドアを使うことで自然光を活かしています。このような賢くかつエコなソリューションは、持続可能性へのニーズがますます高まっている今、とても重要といえます。

彼のインスピレーションの源は日本のデザインで、ある内装プロジェクトは巨匠・安藤忠雄へのオマージュとされています。この住宅は、アメリカ（ニューヨーク&ロサンゼルス）、イタリア、ドイツを含む国際的な賞を次々と受賞し、2019年のSky Design Awards（東京）のショートリストにも残りました。マックスは、ICFF（ニューヨーク）、100% Design（上海）、Light+Building（フランクフルト）など、一流のデザイン団体に招かれ、参加しています。彼の作品は香港や海外のメディアで大きく取り上げられ、最近ではポーランドを代表する「Frame」にも掲載されました。

マックス・ラムのレジデンシャルインテリアデザインのポートフォリオは強力です。彼の信念は「インテリアは、その中で暮らす人々の生活を補完し向上させるような、時代を超えたクオリティを持つべき」ということです。光の詩人インゴ・マウラーをデ

ザインのヒーローと認めるマックス・ラムのデザインには、インスピレーションに満ちた照明デザインが欠かせません。彼の家具の選択もまた素晴らしく、Hansen のウィッシュボーンチェア、Eames のリクライニングチェア、Kartell のスタルク・ゴーストチェアが採用されています。三次元のデザインをするだけでなくとどまらず、五感も取り入れています。タッチと香りもデザイン要素として組み込み、一点もののドアハンドルや、空間のモードに合わせたキャンドルの香りを演出します。空間を巡る旅が思い出深いものになることが彼のビジョンです。

最近のポー・チェンからの依頼案件は、ひとつめのPo Houseでした。エッセンシャルオイルやビューティー製品、サステナブルファッションという2つの部門に別々のアイデンティティを持たせるといふ課題に対して、マックスはクリーンで現代的なソリューションを提案しました。結果としてエレガントなシンプルさが生まれ、サーキュラーエコノミーが彼のタッチで表現されました。現在はマカオの高級住宅地に戻り、2つ目のショーアパートを制作するなど、彼のプロジェクトは考えるだけでもワクワクします。3年前に完成した第1号は、「ショーフラットらしくない」外観で大成功を収めました。マックスが手がけた芸術的でミニマルな外観は、こうしたハイエンド開発案件の常識から外れています。

「Inward Journey」と題されたショーアパートは、アムステルダムで開催された権威あるFrame Awards 2020で、Show Flat of the Yearを受賞しました。審査委員会は、このデザインを「感覚的でよく練られている」と称賛しました。マックス・ラム

は、禅にインスパイアされたデザインを「その空間に住む人々がゆるやかに自身のホリスティックな旅にできるように誘う」と言い、出来上がったアパートは「彼の夢の家」に近いと述べています。Inward Journey は、インテリア空間の内面的な体験にインスピレーションを与えるデザインを創り出すマックス・ラムの献身的姿勢を如実に表しています。この物件のデベロッパーは、「前に進むには同じことの繰り返しではいけない」というビジョンをはっきりと共有しています。

静謐なデザインパレットの中心は、伝統的な職人技と現代的な考え方を融合させた作品を手がける8人の香港人アーティストに依頼したことです。ライアン&ワイのセラミックは、カップを持つというシンプルな行為を触覚で表現し、テクスチャーの感触がさらなる楽しさを与えてくれます。香水アーティストのザビエルは、キャンドルとディフュージョンで、このアパートのためにサンダルウッドとグリーンティリーのユニークな香りをつくりました。Zoe Siuによる日本の結び目は、アートワークとして、また現代的なドアハンドルにテクスチャーのアクセントとして配置されています。マックスのディテールへのこだわりは、エアコンダクトにフレットワークパネルをデザインすることで実証され、アパート全体の上質なウッドワークをシームレスに仕上げ、空間の静寂を邪魔するものは一切ありません。

日本での顧客開拓を含め、マックス・ラムのスタジオはエキサイティングな岐路に立っています。マックスはその旅路を、きっと美しい物語に仕上げるでしょう。

ストーリーテリング

ザ・スイート・エスケープ

フェスティバルウォークにあるLIFETASTIC は、味覚の愉しみだけでなく、五感を満たしつづけるごちそうです。香港を拠点とするデザイン事務所、マックス・ラム・デザインズのコンセプトのもと、600平方フィートの広さを誇るパティスリーは、数えきれないきめ細やかな設えが、繊細なラグジュアリー感を醸し出しています。芸術的なアーチ、彫刻のような照明器具、温かみのある真鍮、ロイヤルブルーの色調は、すべてブランドのビジュアル・アイデンティティを誇示しています。

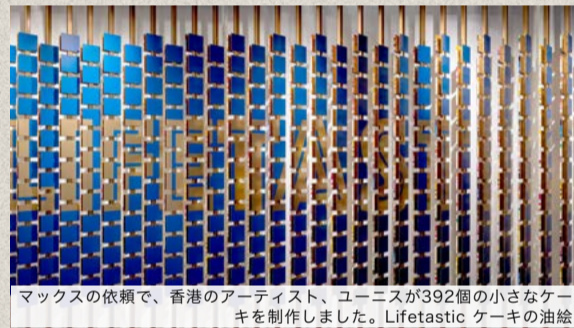
マックス・ラム・デザインズのクリエイティブ・ディレクター兼創設者であるマックス・ラムは、このプロジェクトの背景にあるクリエイティブジャーニーを次のように語ります。「九龍洞の高級ショッピングアーケード、フェスティバルウォークのポディウムにブルーボックスを作るという依頼を受けました。ブリーフィングは、閉じた空間でありながら、目につきやすいパティスリーを作るというものでした。このプロジェクトでは、スペースの制限や天井の低さが特に課題でした。

限りのあるスペースに対応するために、ミラノのダブルドアにヒントを得て、大人用と子ども用の2つのアーチ型の入口を特注で作りました。これが開放感あふれる空間を演出しています。奥のアートウォールに目を向けると、ディスプレイカウンターに吊るされた大きな彫刻のようなペンダントが、低い天井を視覚的に高く見せています。ブランドのシグネチャーであるレイヤードケーキは、香港のアーティスト、ユニスのクリエーションによる小さな油絵392枚となってアートウォールに飾られています。徐々に「LIFETASTIC」が見えてくる革新的なインスタレーションです。

Max Lam Designs は、LIFETASTIC の7店舗のインテリアデザインを担当しました。それぞれが異なるデザインコンセプトでありながら、統一されたブランドアイデンティティを表現しています。フェスティバルウォークのポップアップでは、ビジュアルアートとしてのケーキに焦点を当て、LIFETASTIC の尖沙咀店のデザインでは、パティスリーの特徴であるレイヤードケーキからインスピレーションを得て、賞を受賞しています。



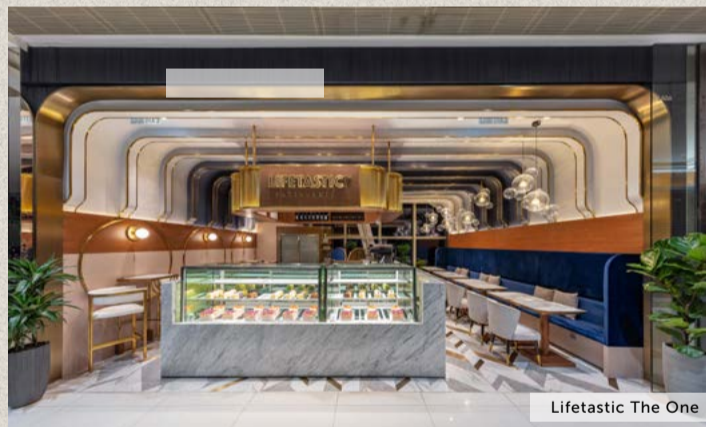
Lifetastic Festival Walk



マックスの依頼で、香港のアーティスト、ユニスが392個の小さなケーキを制作しました。Lifetastic ケーキの油絵



Lifetastic IFC



Lifetastic The One



具現化すること サステナブル リテールデザインで

視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚を通して没入感のあるショッピング体験のために、五感を取り入れること。

マックス・ラム・デザインズは、五感を取り入れることで、お客さまを魅了し、高め、「育む」インテリアデザインを提供します。視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚に働きかける自然素材を取り入れることで、五感を楽しませるだけでなく、自然の調和を感じる没入感あふれる印象的なショッピング体験を創造しました。木や石の有機的な質感、自然の音を呼び起こす環境音楽、商品の触感、天然素材を使った店内サンプル、さらにはナチュラルでフレッシュな感覚の店舗のシグネチャーフレグランスなど、それぞれの要素が調和して、より深いレベルで顧客を魅了し楽しませるマルチセンサリー体験を生み出しています。マックス・ラムのデザインは、天然素材を考え抜いて意図的に使用することで、ショッピング体験を高めるだけでなく、ナチュラルなフィーリングや静けさを作り出しています。

ONE STORY, ONE INTERVIEW INWARD JOURNEY

ビジネスの学位取得後、ご自身のブティック・デザイン・スタジオを設立するまでには、どのような経緯がありましたか？

卒業後、自分の本当の情熱はデザインだと気づき、仕事として追求することにしました。自分の創造性を表現し、アイデアを実現する方法として、2013年に自分のブティック・デザイン・スタジオを設立しました。これまでの道のりは刺激的で充実していましたし、いつもデザインの可能性に刺激を受けています。

デザイナーとしてスタートした当初から現在に至るまで、あなたのクリエイティブな旅はどんな進化を遂げましたか？

デザイナーとして、またクリエイティブ・ディレクターとして、私の旅は成長と洗練の連続でした。最初の頃は、どのプロジェクトもデザインだけに集中して、かなり現場主義で進めていました。しかし、経験を積み、ビジネススキルを身につけるにつれ、デザインマネジメントとコラボレーションの価値を実感するようになりました。

今では、デザインとは単に審美的なものであるだけでなく、価値を創造し、クライアントの問題を解決することだと考えています。私は、より広い視野で各プロジェクトのビジネスや実用的な要素を考慮しながらデザイン感覚を進化させることができました。チームやクライアントと緊密に連携し、見た目のインパクトだけでなく、機能性と持続可能性もつデザインを生み出すよう心がけています。

また、地元のアーティストや職人とのコラボレーションは、プロジェクトに新鮮でインスピレーションを与えてくれるため、私のデザイン手法の重要な一部となっています。彼らと協働することで、本当にユニークで意義のあるデザインを創りだせるのです。

自分のデザインスキルと経験を活かして価値を創造し、地域社会に貢献することが最終的な目標です。私のクリエイティブな旅は、いままで充実したやりがいのあるものでした。これから先も、どんな進展をするか楽しみです。

最近のプロジェクトでは、地元のアーティストや職人と緊密に連携して、ユニークなアート作品を制作しましたね。地元の才能をデザインに取り入れるアプローチや、それが顧客と地域社会の両方にもたらす恩恵について、詳しくお聞かせください。

地元のアーティストや職人とコラボレーションすることは、私たちのデザインアプローチにとって大切であり、インスピレーションを与えてくれます。アートとデザインは深く結びついているので、そのようなコラボレーションは、プロジェクトに新鮮で刺激的な視点をもたらすと信じています。また、地元のオ

能を支援・紹介することが地域社会に貢献するチャンスにもなります。私にとってデザインにおけるアートは、創り出す空間に感情的で個人的な側面をもたらす価値があります。アート作品にはメッセージ性があり、ユニークで印象的な雰囲気を提供することもできます。アーティストの作品をデザインに取り入れることで、私たちはお客様に本当に特別で価値のあるものをお届けできるのです。

しかし結果のみが大切なわけではありません。コラボレーションの過程こそが、刺激的でやりがいのある体験なのです。アイデアを出し合ったり互いに学び合うことは、デザインの可能性の境界線を押し広げるチャンスなのです。自分のチームや地元のアーティストと協働して、革新性にあふれた刺激的で印象に残るデザインを制作することに、いつもわくわくしています。

あなたの現在のパーソナルスタイルはどのようなもので、それが現在のデザインセンスをどのように形成してきたのでしょうか？

私のデザイナーとしてのパーソナルスタイルは、自分の経験やデザイン哲学、ヴィンテージへの愛着など、さまざまな要素の影響を受けています。特に、木などの天然素材を使うことや、幾何学的なフォルムのきれいなラインや形に興味を持っています。幾何学は空間に構造とバランスを与えるので、デザインには欠かせないアспектだと考えています。

一方で、家具や構造的な詳細構成でヴィンテージ要素をデザインに取り入れることも楽しんでます。ヴィンテージアイテムは、新しいものでは再現できない個性や歴史を空間に与えてくれるからです。いかにヴィンテージとモダンの適切なバランスを見つけ、ストーリーを伝え、感情を呼び覚ます調和のとれた構成にするかに挑戦しています。

私のデザインセンスの根底にあるのは、それが機能的で美しいだけでなく、意義深く記憶に残る空間づくりなのです。

お酒に詳しく、嗜まれているとのことですが、どんなお酒がお好きですか？

以前好きだったのは、ウイスキーやジントニックでしたが、好みが変わり今では赤ワインの繊細でまるやかな味わいに惹かれるようになりました。自分の人生と似ていて、まるやかで洗練されたテイストを求めるようになったのでしょうか。ウイスキーやジントニックのようなシャープでピターな味わいは、もはや昔のような魅力を感じなくなりました。代わりに赤ワインのなめらかで心地よい香りを堪能しています。人生と同じように、味覚や嗜好も常に進化しているのだと実感します。



アクティブで健康的な生活と、多忙なデザイナー業務は、どのようにバランスをとっているのですか？

運動したり自然の中に身を置くことは、健康的な生活のバランスを保つうえで不可欠だと考えています。デザイン業界のような厳しい環境で働いていると、日々の仕事に追われ、心身の健康が疎かになりがちです。だからこそ定期的に運動し、キャンプやハイキングなど自然の中で過ごすことを大切にしています。

運動は身体の健康維持に役立つだけでなく、気分や創造性を高めてくれます。頭の中を整理して、デザインの新しいアイデアを思い出す最適な方法なのです。また、キャンプに行くこと、自然に囲まれていることで気持ちが落ち着き充電できます。

もちろん、忙しいキャリアとプライベートのバランスを取ることは難しいことですが、大切なことのために時間を作ることは重要だと思います。つまり、仕事のコミットメントと同じように、トレーニングやキャンプも計画的に行うようにしています。自分に合ったバランスを見つけ、自分の幸福のために努力することが大事だと思います。

オーダーメイドの照明デザイナーが作る フルチセンサリー体験

賑やかな都市で、好奇心旺盛なデザイナー、Max Lamは、水の波紋の自然美にインスピレーションを受けました。彼は、この現象を照明器具にどのように翻訳できるかを考え、イタリアの一流照明会社、VIABIZZUNOにプロジェクトの協力を申し出ました。

Max LamとVIABIZZUNOは協力して、Ripple Lightingを生み出しました。素晴らしい照明器具は、ヴェネツィアの経験豊富なガラス職人によって巧みに作られ、柔らかく拡散した光を生み出す独自のパターンが特徴で、水の波紋の静けさを思わせます。

彼らの協力により、Max LamとVIABIZZUNOは、それぞれの専門知識を結集し、自然の美しさを捉えるだけでなく、小さな親切の波及効果を促進する照明器具を作り上げることができました。Ripple Lightingはすぐに注目を集め、香港最優秀グローバルデザイン賞、グローバルデザイン賞、K-Design賞など、多数の賞を受賞しました。香港の文化遺産博物館にも『Ripple』が収蔵されました。

Max Lamの好奇心とビジョン、VIABIZZUNOの専門知識を結集したおかげで、香港のデザイン業界は照明デザインの世界で重要な役割を果たし、Ripple Lightingは香港デザイン産業の美しさの可能性の輝かしい例として今もなお輝き続けています。



Ding Ding にある COBO HOUSE & ARTISAN ROOM



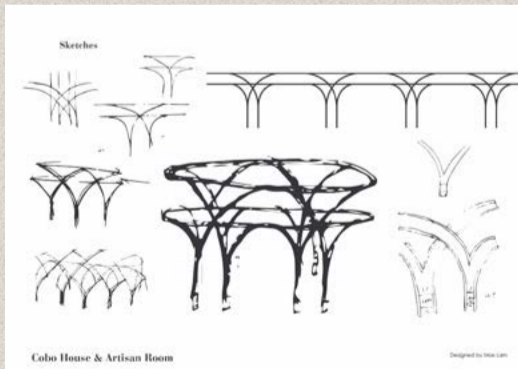
照明は、どんな空間においてもダイナミックで欠かせない要素です。私はデザイナーとして、オーダーメイドの照明製品は、単に部屋を照らす以上の役割があると信じています。空間を変容させ、その創造の本質を伝える力を持っています。

さまざまな形や大きさ、色、温度、反射、屈折を注意深く選ぶことで、オーダーメイドの照明は、ユニークでパーソナルなストーリーを伝えることができます。それぞれの作品は、それ自身が芸術作品となり、照らす空間に深みと意味を与えます。

私は、オーダーメイドの照明器具づくりを通じて、それが機能的な目的を果たすだけでなく、過ごす空間に個性と深みをもたらすことを目指しています。考え抜いた恣意的なデザインによって、私たちの環境体験や空間とのかかわり方を変容させ、最終的にはより美しく、意義深い世界を創造することができるかと信じています。

- Max Lam

Kennedy Town にある COBO HOUSE & ARTISAN ROOMでは、香港の伝統と100年以上続く交通システムに敬意を表して、Ding Ding 真鍮製シャンデリアを設置しました。この特注の照明器具は、香港の象徴である路面電車（トラムレイル）からインスピレーションを得ています。香港の美しい思い出とともに、スムーズでいて屈強なラインとカーブで空間に歴史と個性を添えています。Ding Dingは、香港のユニークなアイデンティティとその不朽の精神を照らし、祝福する照明器具です。



INWARD JOURNEY - 職人たちの絆を深めるために



マックス・ラム・デザインは、審査員の興味をそそるホリスティックな体験を創造することで、類型学の未来に賭けにでたのです。マックス・ラムのチームが授賞トロフィーを勝ち取った理由について Frame Awards 2020 審査委員会 不動産開発部 ローラ・ピエレキは以下のように記しています。" 感覚的でとてもよく練られている" Inward Journeyは、特注のアート作品やオブジェを通して各感覚を刺激し、来訪者を滞留させながらゆっくりと自分自身への旅に誘います。

マカオの展示住居 「Inward Journey」 が、アムステルダムで開催された権威ある「Frame Awards 2020」でShow Flat of the Yearを受賞しました。審査委員会は、このデザインを「感覚的でよく考えられたデザイン」と称賛しました。マックス・ラムは、禅にインスパイアされたデザインを「ホリスティックな旅」と表現し、「この空間に住む人々が、ゆっくりと自分自身を旅するように誘う」と述べ、出来上がったアパートメントは「彼の夢の家」に近いと語っています。

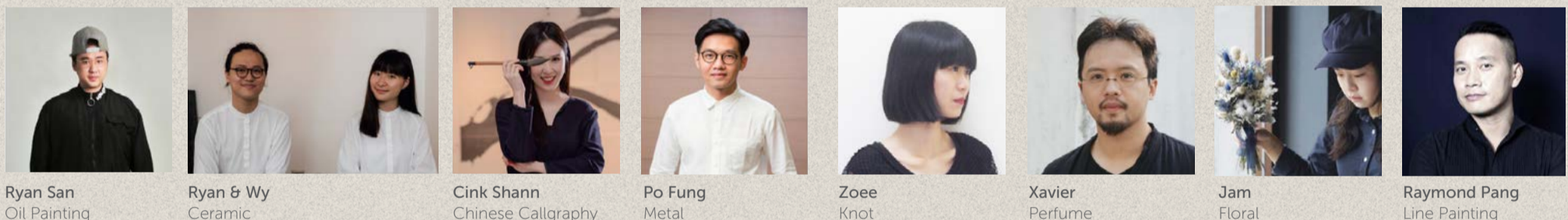
静謐なデザインパレットは、伝統的な職人技と現代的な考え方を融合させた作品を手がける8人の香港人アーティストに依頼したことから誕生しました。ライアン&ワイの陶器は、カップを持つというシンプルな行為を触覚で表現し、テクスチャーの感触が喜びを増してくれます。香水アーティストのザビエルは、このアパートのためにサンダルウッドとグリーンティリーのユニークなキャンドルと芳香ディフューザーをつくりました。Zoe Siuによる日本の水引が、アートワークとして、またモダンなドアノブのテクスチャーのアクセントとして配置されています。エアコンの排管には透かしの雷模様パネルをデザインすることでマックスの細部へのこだわりが表されています。アパート全体は上質な木工細工をシームレスに仕上げられ、もはや空間の静寂を妨げるものはありません。

Inward Journey は、インテリア空間の内面にインスピレーションを与えるデザインを創り出すというマックス・ラムの献身的な姿勢を見事に表しています。

*Inward Journeyプロジェクトは、Frame Awards の Showflat of the Year を受賞しています。



The nine artists



“住まいの調和 を実現するための秘訣を探る

ラグジュアリーリビングがあなたの人生を変えウエルビーイングをもたらす”



住空間がまとまりのある調和のとれた環境となるためには、全ての要素が慎重に検討され創り出されるべきである、とマックスは考えます。家具や照明器具から壁の仕上げや装飾的なアクセントに至るまで、それぞれのディテールが空間全体の雰囲気や体験を形成する上で重要な役割を担っていると云います：

「私にとって、このような細部への心配りは、単なる美意識の問題ではなく、品質とクラフトマンシップに対する私のこだわりの証です。すべての要素が、高品質の素材と技術を使い、細心の注意と正確さをもってデザインされ、実行されるべきだと考えます。住宅設計のプロジェクトでは、クライアントと緊密に連携して、ニーズや好みライフスタイルを理解し、その個性やビジョンを真に反映した空間を創ります。モダンでミニマルな空間であっても、トラディショナルや折衷主義の空間においても、美しく機能的であるだけでなく、クライアント独自のスタイルや個性を反映した住まいをつくるのが私の目標です。そして、このような細部へのこだわりとパーソナライズな発想が、私のデザインを際立たせ、本当に優れた住宅体験を生み出すのだと信じています。”

MAX LAM DESIGNS

Unit D, 3/F, Goodman Tsuen Wan Centre, 68 Wang Lung Street, Tsuen Wan, Hong Kong

Office (852) 2838 2183
Whatsapp (852) 6699 2699
Email: designs@maxlam.com

by appointment only
<https://www.maxlam.com>



[MaxLamDesigns](https://www.maxlam.com)



Photos courtesy of Max Lam Designs (Hong Kong)

#ISSUE 09 (Japanese)
#ISSN 2817-1276

Managing Director: Peggy Lui
Editor and copywriter: Lianne Hackett
Art Direction: Peggy Lui
Design by: Merci Design Workshop
Printed in Japan/ Canada

One Story by Merci Media Corporation is a Trademark publication.
Trademark file number 2222129.
It all begins with one story - One Brand, One Solution, One Story.